

パブロン kids かぜシロップ

- ◆パブロンキッズかぜシロップは、3ヵ月の乳児から服用いただけるお子さま用のかぜ薬です。
- ◆いちご風味で飲みやすいシロップ剤で、せき・鼻みず・熱等の症状を改善します。
- ◆お子さまの眠りをさまたげる成分 カフェイン、dl-メチルエフェドリン塩酸塩等を配合していません。

効能

かぜの諸症状（せき、鼻みず、発熱、のどの痛み、くしゃみ、たん、鼻づまり、悪寒（発熱によるさむけ）、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

添付の目盛りコップで次の量をはかり、1日3回毎食後、及び必要な場合には就寝前に服用してください。また場合によっては、約4時間の間隔をおいて1日6回まで服用することができます。

3才～6才、1回10mL、1日3回

1才～2才、1回7.5mL、1日3回

6ヵ月～1才未満、1回6mL、1日3回

3ヵ月～6ヵ月未満、1回5mL、1日3回

3ヵ月未満、服用しないこと

注意

- ・定められた用法・用量を厳守してください。
- ・小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- ・2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。
- ・キャップを開める前にびんの口についた液を清潔なガーゼ等でふいてください。（液が固まってキャップが開けにくくなる場合があります）

成分

60mL 中

デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 16mg

グアイフェネシン 83.3mg

クロルフェニラミンマレイン酸塩 2.5mg

アセトアミノフェン 300mg

添加物

白糖、スクラロース、安息香酸、パラベン、クエン酸 Na、クエン酸、黄色5号、香料、バニリン

使用上の注意

本剤は小児用ですが、かぜ薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

- 次の人は服用しないでください
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
（眠気等があらわれることがあります）
- 服用前後は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください

相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
医師又は歯科医師の治療を受けている人。
妊婦又は妊娠していると思われる人。
薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
次の症状のある人。
高熱、排尿困難
次の診断を受けた人。
心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
 - 皮膚：発疹・発赤、かゆみ
 - 消化器：吐き気・嘔吐、食欲不振
 - 精神神経系：めまい
 - 呼吸器：息切れ、息苦しさ
 - 泌尿器：排尿困難
 - その他：過度の体温低下
- まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。
 - ショック（アナフィラキシー）：服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
 - 皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症：高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
 - 薬剤性過敏症候群：皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根等）のはれ等があらわれる。
 - 肝機能障害：発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
 - 腎障害：発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
 - 間質性肺炎：階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
 - ぜんそく：息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
 - 再生不良性貧血：青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
 - 無顆粒球症：突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
 - 口のかわき、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

保管及び取扱い上の注意

- ・直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- ・小児の手の届かない所に保管してください。
- ・他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）
- ・使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は6か月以内に服用してください。（品質保持のため）

31

【多言語製品情報提供時に関する免責事項】

- ・本製品は、日本国内での販売及び使用を目的として、日本の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき承認された医薬品です。
- ・多言語製品情報は、当該製品の日本語の添付文書を翻訳したものであり、あくまで参考情報として提供されるものです。その記載内容及び当該製品自体が日本国外の法規に適合していることを保証するものではありません。
- ・多言語製品情報は、提供者（又は当社）による仮訳であり、今後、予告なしに修正・変更される可能性があります。
- ・多言語製品情報の記載内容に起因して発生した問題については、提供者（又は当社）は一切の責任を負いかねます。